

# 宿 泊 約 款

TERMS AND CONDITIONS FOR  
ACCOMMODATION CONTRACTS

【株式会社佐野家】

ホテル佐野家

旅館若みや

## (適用範囲)

- 第1条 1. 当館が宿泊客との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じた時は前項の規定に関わらず、その特約が優先されるものとします。

## (宿泊契約の申込み)

- 第2条 1. 当館に宿泊契約を申込みとする者は、次の事項を当館に申し出て頂きます。
- (1) 宿泊者名及び住所
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
  - (4) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館はその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

## (宿泊契約の成立等)

- 第3条 1. 宿泊約款は、当館が前条の申込みを承諾した時に成立するものとします。但し、当館が承諾をしなかった事を証明した時はこの限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立した時は、宿泊期間(3日を超える時は3日間)の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を当館が指定する日迄に、お支払い頂きます。
3. 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じた時は、違約金・取消料に次いで賠償金の順序で充当し残額があれば第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払い頂けない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。但し、申込金お支払い期日を指定するに当たり当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限りです。

## (申込金の支払いを要しない事とする特約)

- 第4条 1. 前条第2項の規定に関わらず当館は契約の成立後、同項の申込金の支払いを要しない事とする特約に応じる事があります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## (宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 1. 当館は次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じない事があります。
- (1) 宿泊の申込みがこの約款によらない時
  - (2) 満室により客室の余裕がない時
  - (3) 宿泊しようとする者が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為を行う恐れがあると認められる時
  - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき
    - イ. 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2項に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ. 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
  - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき
  - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
  - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させる事が出来ない時
  - (9) 京都府旅館業法施行条例7条の規定する場合に該当する時

## (宿泊客の契約解除権)

- 第6条 1. 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除する事ができます。
2. 当館は、宿泊客が宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表第2に掲げるところにより、取消料を申し受けます。但し、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除した時の取消料支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限りです。
3. 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合はその時刻を1時間経過した時刻)になっても到着しない時は、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理する事があります。

## (当館の契約解除権)

- 第7条 1. 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除する事があります。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められる時、又は

同行為をしたと認められる時

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ. 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき

(4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められる時

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、または合理的な範囲をこえる負担を求められたとき。

(6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させる事が出来ない時

(7) 京都府旅館業施行衛生措置等に関する条例4条(第号)の規定する場合に該当する時

(8) 所定の喫煙場所を除く館内での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他、当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わない時

2. 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除した時は、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金は頂けません。

### (宿泊の登録)

第8条 1. 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び職業

(2) 外国人にあつては国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日

(3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他当館が必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとする時はあらかじめ前項の登録時にそれらを呈示して頂きます。

### (客室の使用時間)

第9条 1. 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。但し、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用する事が出来ます。

2. 当館は、前項の規定に関わらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じる事があります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1) 超過3時間までは、室料相当額の30%

(2) 超過6時間までは、室料相当額の60%

(3) 超過6時間以上は、室料相当額の100%

3. 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

### (利用規則の遵守)

第10条 1. 宿泊客は、当館内においては、当館が定めた利用規則に従って頂きます。

### (営業時間)

第11条 1. 当館の主な施設等の営業時間は次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等で御案内致します。

(1) フロント・キャッシャー等サービス時間

イ. 門限： 午前 0時30分

ロ. フロントサービス： 午前 6時00分 ~ 午後10時00分

(2) 飲食等(施設)サービス時間

イ. 朝食： 午前 7時00分 ~ 午前 9時00分

ロ. 昼食： 午前11時00分 ~ 午後 2時00分

ハ. 夕食： 午後 5時00分 ~ 午後 8時00分

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時的に変更する事があります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

### (料金の支払い)

第12条 1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及び算出方法は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により宿泊客の到着の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3. 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になった後、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

### (当館の責任)

- 第13条 1. 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えた時は、その損害を賠償します。但し、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでない時は、この限りではありません。
2. 当館は、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処する為、旅館賠償責任保険に加入しております。

### (契約した客室の提供ができない時の取扱い)

- 第14条 1. 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できない時は、宿泊客の了解を得て、出来る限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当館は、前項の規定に関わらず他の宿泊施設の斡旋できない時は、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。但し、客室が提供できない事について、当館の責めに帰すべき事由がない時は、補償料を支払いません。

### (寄託物等の取扱い)

- 第15条 1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は、現金並びに貴重品について、紛失・毀損等の損害が生じた時は、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。但し、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかった時は、当館は15万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 当館は、15万円以上の現金又は時価15万円相当以上の物品はお預かりできません。
3. 宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品又は、現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じた時は、当館は、その損害を賠償します。但し、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当館に故意又は重大な過失がある場合を除き15万円を限度として当館はその損害を賠償します。
4. 当館は、第1項及び第3項に基づく損害賠償責任のあるときであっても、次に定める物品については、その責任を負いません。
- (1) 稿本、設計書、図案、帳簿その他これらに準ずるもの(磁気テープ、ディスク、光ディスク等の情報機器(コンピュータ及びその端末装置等の周辺機器)で直接処理を行える記録媒体に記録されたものを含みます。)

### (宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
2. 宿泊客がチェックアウトをした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明した時は、当館は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。但し、所有者の指示がない場合又は、所有者が判明しない時は、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は、携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に前項の場合にあつては同条第3項の規定に準じるものとします。

### (駐車場の責任)

- 第17条 1. 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車輛のキーの寄託の如何に関わらず、当館は場所をお貸しするものであつて、車輛の管理責任まで負うものではありません。但し、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えた時はその賠償の責めに任じます。

### (宿泊客の責任)

- 第18条 1. 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被った時は、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。
2. 宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため、万が一、宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたと認識した時は、当館において速やかにその旨を当館に申し出なければなりません。

### (管轄裁判所と準拠法)

- 第19条 1. 当館と宿泊客との間の宿泊契約に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当館の所在地を管轄する地方裁判所または、簡易裁判所をもって専属管轄裁判所とします。

別表第1 宿泊料金の算定方法(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊者が 支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料(室料+朝・夕食料+サービス料)
	追加料金	追加飲料(朝・夕食以外の飲料及びその他の利用料金+サービス料)
	税金	消費税、宿泊税

備考:料金は小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具を提供した時は、大人料金の70%、  
子供用食事と寝具を提供した時は、大人料金の50%、寝具のみを提供した時は、大人料金の30%を頂きます。  
食事及び寝具を提供しない幼児については料金を頂きません。

別表第2 取消料(第6条第2項関係)

【一般客用】

契約解除の 通知を受けた 日 契約申込 人数	不 泊	当 日	前 日	2 日 前	3 日 前	5 日 前	6 日 前	7 日 前	8 日 前	14 日 前	15 日 前	30 日 前
14名迄	100%	100%	50%	30%	30%							
15名～30名迄	100%	100%	50%	30%	30%	30%						
31名～100名迄	100%	100%	80%	50%	30%	30%	20%	20%	10%	10%		
101名以上	100%	100%	80%	50%	50%	30%	30%	30%	15%	15%	10%	10%

- (注)1. %は、基本宿泊料に対する取消料の比率です。  
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に関わりなく、1日分(初日)の取消料を頂きます。  
3. 団体客の(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引受けした場合にはそのお引受けした日)における宿泊人数10%(端数が出た場合には切り上げ)にあたる人数については、取消料は頂きません。

【教育旅行団体用】

取消日	不 泊	当 日	前 日	2 日 前	7 日 前	15 日 前	30 日 前	60 日 前	90 日 前	180 日 前
	100%	100%	80%	70%	50%	40%	30%	20%	15%	10%

- (注)1. %は、基本宿泊料に対する取消料の比率です。  
2. 上記取消料は、ご予約頂いた延べ人数が対象となります。  
3. 上記取消料は、グループ全体の取消ではなく、部分的な取消や人数の減少の場合にも適用されます

# TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

## **(Scope of Application)**

Article1-1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and or generally accepted practices

2-2 In the case when the Ryokan has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding, the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

## **(Application for Accommodation Contracts)**

Article2-1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Ryokan shall notify the Ryokan of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s)
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (Based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No1)
- (4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2-2 In the case when the Guest requests. during his stay .extention of the accommodation beyond the date in Subparagraph(2)of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

## **(Conclusion of Accommodation Contracts, etc)**

Article3-1A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Ryokan has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Ryokan has not accepted the application.

3-2When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guset is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Ryokan within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3days when the period of stay exceeds 3days) by the date specified by the Ryokan.

3-3The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article12.

3-4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Ryokan shall trest the Accommodation Contract as invalid.

However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Ryokan when the period of payment of the deposit is specified.

## **(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)**

Article4-1 Notwithstanding the provisions of Pragraph 2 of the preceding Article, the Ryokan may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

4-2 In the case when the Ryokan has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be construed as that the Ryokan has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

## **(Refusal of Accommodation Contracts)**

Article5-1The Ryokan may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions:
- (2) )When the Ryokan is fully booked and no room is available.
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation:
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
- (5) When the Ryokan is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
- (6) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.
- (7) When the provisions of Article No4 of Metropolitan/Prefectural Ordinance are applicable

## **(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)**

Article6-1The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Ryokan.

6-2In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Ryokan has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment) the Guest shall pay cancellation charges as listed

in the attached Table No2 .However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation by charges in case of cancellation the Guest.

6-3 In the case when the Guest does not appear by 8:00PM of the accommodation date(1)hours after the expected time of arrival if the Ryokanl is notified of it without an advance notice, the Ryokan may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

#### **(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Ryokan)**

Article7-1 The Ryokan may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or haven conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
- (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (3) When the Ryokan is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation
- (4) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
- (5) When the provisions of Article No4 of Prefectural Ordinance are applicable;
- (6) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the firefighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Ryokan.

(restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires)

7-2 In the case when the Ryokan has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Ryokan shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

#### **(Registration)**

Article8-1The Guest shall register the following particular at the front desk of the Ryokan on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address, and occupation of the Guests.
- (2) For non Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
- (3) Date and estimated time of departure: and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

8-2In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

#### **(Occupancy Hours of Guest Rooms)**

Article9-1The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Ryokan from 3:00PM to 11:00AM the next morning However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

9-2The Ryokan may, notwithstanding the provisions.

prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 1 hours: one third of the room charge (or 30% of the equivalent in the sum to the room charge)
- (2) Up to 4 hours: one half of the room charge (or 60% of the equivalent in the sum to the room charge)
- (3) More than 4 hours: room charge In full (or 100% of the equivalent in the sum to the room charge)

#### **(Observance of Use Regulation)**

Article10-1The Guest shall observe the Use Regulations established by the Ryokan.

(Business Hours)

Article11-1The business hours of the main facilities, etc. of the Ryokan are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.

- (1) Service hours of front desk, cashier's desk ,etc.  
A Closing time 0:30AM B Front service 6:00AM ~ 10:00PM
- (2) Service hours(at facilities)for dining, drinking, etc..  
A Breakfast 7:00AM ~ 9:00AM B Lunch 11:00PM ~ 2:00PM  
C Dinner 5:00PM ~ 8:00PM
- (3) Service hours of auxiliary facilities

11-2The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Ryokan.

In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

#### **(Payment of Accomodation Charges)**

Article12-1The breakdown of the Accommodation Charges, etc.

That the Guest shall pay is as listed in the attached Table No1.

12-2Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Ryokan at the front desk

at the time of the departure of the Guest or upon request by the Ryokan.

12-3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities which have been provided for him by the Ryokan and are at his disposal.

**(Liabilities of the Ryokan)**

Article 13-1 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage if the Ryokan/ has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply

in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Ryokan is not liable.

13-2 Even though the Ryokan has received the "PASS MARK" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Ryokan is covered by the Ryokan Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and /or other disasters.

(Handling When Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 14-1 The Ryokan shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

14-2 When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Ryokan cannot provide accommodation due to the causes for which the Ryokan is not liable, the Ryokan shall not compensate the Guest.

**(Handling of Deposited Articles)**

Article 15-1 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage when loss. Breakage or other damage is caused to the goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuable, when the Ryokan has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Ryokan shall compensate the Guest within the limit of 100,000 yen.

15-2 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Ryokan, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Ryokan by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest, the Ryokan shall compensate the Guest within the limit of 100,000 yen.

**(Custody of Baggage and / or Belongings of the Guest)**

Article 16-1 When the baggage of the Guest is brought into the Ryokan before his arrival, the Ryokan shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Ryokan. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check in.

16-2 When the baggage or belonging of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Ryokan shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Ryokan by the owner or when the ownership is not confirmed, the Ryokan shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Ryokan shall turn it over to the nearest police station.

16-3 The Ryokan liability in regard to the custody of the Guests baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

**(Liability in regard to Parking)**

Article 17-1 The Ryokan shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Ryokan, as it shall be regarded that the Ryokan simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Ryokan or not. However, the Ryokan shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

**(Liability of the Guest)**

Article 18-1 The Guest shall compensate the Ryokan for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.



**Attached Table No1**

Calculation method for Accommodation Charges

(Ref Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	① Basic Accommodation charge(Room Charge + Breakfast & Dinner) ② Service Charge (①×15%)
	Extra Charges	① Extra Meals & Drinks (other than Breakfast and Dinner ) and Other Express ② Service Charge (①×15%)
	Taxes	Consumption Tax

Remarks

- Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted at the
- A child's charge applies to children attending elementary school of age (up to 12years of age) and under 70% of the adult charge shall be required when meals and bedding comparable to those for the adult are provided to such children, 50% shall be required when meals and bedding for children are provided and 30% when only bedding for children is provided, For an infant to whom meals and bedding are not provided,2000yen shall be charged.

**Attached Table No2**

Cancellation Charge for Ryokan (Ref, Paragraph 2 of Article 6)

Data when Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests		
	1 To 14	15 to 30	31 to 55
No show	100%	100%	100%
Accommodation Day	100%	100%	100%
1 Day Prior to Accommodation Day	50%	50%	80%
2 Day Prior to Accommodation Day	30%	30%	80%
3 Day Prior to Accommodation Day	20%	30%	50%
5 Day Prior to Accommodation Day	20%	20%	50%
6 Day Prior to Accommodation Day	10%	20%	30%
7 Day Prior to Accommodation Day	10%	20%	30%
8 Day Prior to Accommodation Day		10%	20%
14Day Prior to Accommodation Day		10%	20%
15Day Prior to Accommodation Day			10%
30Day Prior to Accommodation Day			10%

Remarks

- The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
- When the number of days contracted is shortened , the cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy(When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.